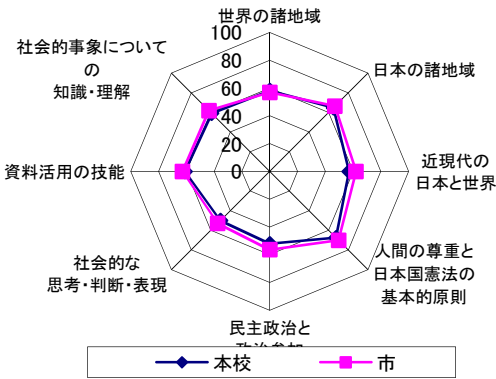


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	世界の諸地域	58.1	56.9
	日本の諸地域	64.8	66.4
	近現代の日本と世界	57.2	62.1
	人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	67.6	70.1
	民主政治と政治参加	52.1	56.4
観点別	社会的な思考・判断・表現	50.1	53.0
	資料活用・技能	61.0	62.7
	社会的な思考・判断・表現	59.1	61.9



★指導の工夫と改善

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	世界の諸地域	本校の正答率は、市の平均よりもやや上回っている。しかし、設問ごとにみると、ヨーロッパの単元、アメリカの単元ともに下回っている内容が多くみられる。資料を読みとる力は、市の平均よりも上回っている傾向があるが、地形や農業、工業の特色について理解できていない生徒が多くみられる。	世界の諸地域においては、地形の読みとりが苦手な傾向があるので、授業において地図帳などを用いて地形を確認していく必要がある。また、地理の授業内容が増えており、なかなか大変ではあるが、世界の各地域の農業の特色や工業の特色について理解させていく必要がある。
	日本の諸地域	本校の正答率は、市の平均よりもやや下回っている。特に雨温図を読み取り、答えることが苦手な傾向がある。また、農業については、市の平均よりも上回っているが、工業についての理解が市の平均を下回っている。	日本の諸地域においては、雨温図から日本の気候を読み取れるよう、日本の気候と雨温図をセットに提示していくことが必要である。気候と雨温図をセットに提示していくことで、その特徴を理解させていく必要がある。また、日本の工業地域や、その特性について理解させていく必要がある。
歴史	近現代の日本と世界	本校の正答率は、市の平均よりも下回っている。明治維新～第二次世界大戦後までの内容は、多くの生徒が苦手としているところである。今回の設問ごとにみると、第一次世界大戦後のアジアの民族運動と第二次世界大戦中の日本の出来事について理解が不十分な生徒が多くみられる。	明治維新～第二次世界大戦後までは、言葉を知っていてもそれがいつ起きて、誰が関係しているのかななどを理解できていない。時代の流れを理解できていない生徒がいる。まずは、大まかな時代の流れを確認し、そのうえで、何が起きてどうなったのか、因果関係を理解させていく必要がある。また、人物について苦手な生徒もいるので、どの人物がどの事件に関わっているのかを確認していく必要もある。
公民	人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	本校の正答率は、市の平均よりも下回っている。人権お歴史は理解できている傾向があるが、人権がどのようなものであるのか、理解が不十分である。	人間の尊重と日本国憲法の基本原則においては、人権というものは誰もが生まれながらに持つ権利であることを確認し、どのような人権が保障されているのかを確認していく必要がある。そのうえで、お互いの人権を主張していくと、権利が衝突することを理解させる。お互いの権利の衝突が起きた時にどうするべきか、その判断として公共の福祉が関係していることを理解させていく必要がある。
	民主政治と政治参加	本校の正答率は、市の平均よりも下回っている。国会と内閣のしくみや仕事について理解が不十分である。また、選挙制度についての理解も不十分である。	民主政治と政治参加においては、今回の問題では出題されてい裁判所も含め、国会、内閣、裁判所のそれぞれの仕組みと役割を理解させていく必要がある。また、日本の選挙制度についての特色を理解させ、この制度での良い点、問題点についても考えさせていく必要がある。